

令和6年度 第1回電気電子システムコース 教育システムWG委員会 議事録

日時：2025年3月25日（火）10:00～

場所：セミナー室

出席者（敬称略）：西尾，北條，直井，宋，芥川，寺西

議題

1. 研究指導計画書について

創成 Mr, Dr, 先端 Dr について別紙のとおり修正し，次年度より運用することとなった。

2. 理工学特別実習について

本科目は教務システムにシラバスがないため，電気電子システムコース用のシラバスを用意し，学生に配布・周知することとなった。「成績評価方法・基準」の項目について，「中間発表 70%，他コース中間発表会の聴講レポート 30%として評価し，合計が 60%以上で合格とする。ただし，合格するには他コース聴講レポートと中間発表の評価が共に 60%以上必要である。」とする。これまで他コースの聴講レポートの評価については，指導教員が単独で行っていたが，評価の平等性を図るため，2025 年度以降は指導教員，副指導教員，アドバイザー教員の 3 名により評価（3 名の平均評価）する。

3. 電気電子システム特別研究における実施時間の確保について

シラバスにおける「コースが定める標準的研修時間」について，H24.4.3JABEE 検討委員会資料（学科会議で了承）に基づき，「平日，講義受講時間を含めて 6 時間/日とする。」ことを明記し，学生に遵守するよう指導する。また，卒業研究のシラバスについても同様に記述し，学部学生にも標準的研修時間（6 時間/日）を遵守するよう指導する。なお，現時点において，学生の研修時間の記録などは必要としないが，教員は学生が標準的研修時間を確実に確保できるよう実効的な指導・対応に努める。シラバスに「中間発表を行うためには，週一回行われる研究室ゼミと文献輪読について全回の出席が必要である。」ことを明記する。なお，病気等のやむを得ない理由で欠席した場合には，後日実施することで対応できることとするシラバスに「中間発表が合格点に満たない場合には，年度内に再発表を行い再評価する。」ことを明記する。

4. 最終試験（大学院）の実施に伴う単位修得の確認について

前期終了時点の修了判定資料を教務委員長が確認し，修了要件を満たしていない M2 学生がいる場合には，指導教員に通知する。

5. 研究室配属方針について

今後，研究室配属における問題点を明確にし，規則の修正を行うことについて了承された。

6. その他

就職担当の直井先生より，学校推薦の早期化について提案があり，了承された。